

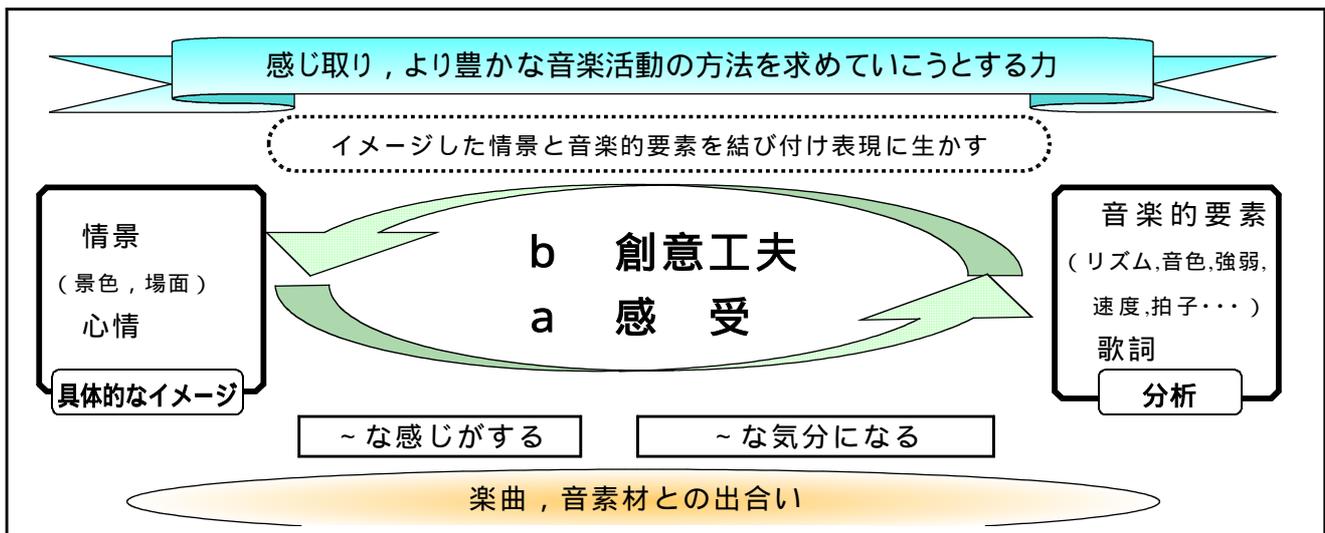
音 楽 科

1 育成したい「思考力」

- a 楽曲や音のもたらす気分や内容から，表す情景を想像したり，特徴付けている要素を感じ取ったりする力
- b より豊かな音楽活動の方法を求めて，感じ取ったことを基にして自ら創意工夫していこうとする力

音楽科が捉える「思考力」とは，楽曲や音を通して感じ取ったことを基にして，より豊かな音楽活動へと高めていこうとする力である。このことは，感受することを出発点として，表現するための工夫や，鑑賞の工夫へと展開していく力とも言える。

これらの「思考力」は，学習指導要領では，「音楽的な感受や表現の工夫」と示されており，表現領域のみならず鑑賞領域においても同様に重要とされている。感受したことを基に楽曲の構成要素を感じ取ったり，特定の楽器の音色の響きを感じ取ったりするなど，聴く観点を明確にしながらか鑑賞の仕方を工夫するところにも思考は働くのである。



a 「感受」する力とは

楽曲や音から音楽的な要素や歌詞の構成を基に，その背景にある情景や心情といった具体的な像を描く力である。

b 「創意工夫」する力とは

感受したことを基に，より豊かな音楽活動を求めてイメージと音楽的要素が結び付いた表現へと高める力のことである。

aとbはそれぞれ独立したものではあるが，音楽活動を進めていく中で，常にどちらも必要となる。つまり，楽曲や音素材を通して子どもたちは様々な情景を感受し，自分なりの表現へと高めていく。その時，情景と音楽的要素を結び付けながら，より豊かな音楽活動の方法を見出していく。そして，aとbの「思考力」を相互に発揮しながら，より豊かな音楽活動を進めていくのである。